インターネットに潜む危険

インターネットには危険が潜んでいる

インターネットはとても便利ですが、危険が潜んでいることを忘れてはいけません。世の中にお金をだまし取ろうとする人や他人を傷つけようとする人がいるように、インターネットの世界にも同じような悪い人がいるのです。インターネットには便利な面も多いですが、危険な面もあります。どのような危険が潜んでいるかを確認しましょう。

個人情報が盗まれる

インターネットに接続するときに入力するパスワードや、オンラインショッピングのときに入力するクレジットカード番号などの個人情報が盗まれて、他人に悪用されてしまうことがあります。個人情報はきちんと管理しておかないと、身に覚えのない利用料金を請求されることになりかねません。

外部から攻撃される

インターネットで世界中の情報を見ることができるというのは、逆にいえば、世界のだれかが自分のパソコンに侵入する可能性があるということです。しっかりガードしておかないと、パソコンから大切な情報が漏れてしまったり、パソコン内の情報を壊すような攻撃をしかけられたりします。



ウイルスに感染する

「コンピューターウイルス」とはパソコンの正常な動作を妨げるプログラムのことで、単に「ウイルス」ともいいます。ウイルスに感染すると、パソコンが起動しなくなったり、動作が遅くなったり、ファイルが壊れたりといった深刻な被害を引き起こすことがあります。ウイルスの感染経路として次のようなことがあげられます。

1. ホームページを表示する
2. インターネットからダウンロードしたファイルを開く
3. Eメールに添付されているファイルを開く
4. USBメモリなどの移動メディア

ウイルスの種類

ウイルスには、次のような種類があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 種類 | 症状 |
| ファイル感染型ウイルス | 実行型ファイル（プログラム）に感染して制御を奪い、感染・増殖するウイルス。 |
| トロイの木馬型ウイルス | 無害を装い利用者にインストールさせ、実行するとデータを盗んだり、削除したりすることを目的としたウイルス。感染・増殖機能はないので、厳密にはウイルスとは区別される。 |
| ワーム型ウイルス | ネットワークを通じてほかのコンピューターに伝染することを目的としたウイルス。ほかのプログラムに寄生せず、自動的に増殖する。 |
| ボット（bot）型ウイルス | 他人のコンピューターを外部から操るためのプログラム。 |
| マクロウイルス | ワープロソフトや表計算ソフトなどに搭載されているマクロ機能を悪用したウイルス。ファイルを開いた時に感染する。 |
| スパイウェア | パソコン利用者に知られないように内部に潜伏し、データを外部に送信する。厳密にはウイルスとは異なり、マルウェアのひとつとされている。 |

情報や人にだまされる

インターネット上の情報がすべて真実で善意に満ちたものとは限りません。内容が間違っていることもあるし、見る人をだまそうとしていることもあります。巧みに誘い込まれて、無料だと思い込んで利用したサービスが、実は有料だったということも少なくありません。

また、インターネットを通して新しい知り合いができるかもしれませんが、中には悪意を持って近づいてくる人もいます。安易に誘いに乗ると、危険な目にあう可能性があります。

* フィッシング詐欺  
  送信者名を金融機関などの名称で偽装してEメールを送信し、Eメール本文から巧妙に作られたホームページへジャンプするように誘導します。クレジットカード会社や銀行などは、Eメールで個人情報を聞き出すことはしません。誘導したホームページに暗証番号やクレジットカード番号を入力させて、それを不正に利用するという詐欺です。
* ワンクリック詐欺  
  「ワンクリック詐欺」とは、クリックしただけなのに、表示されるホームページで利用料金を請求するような詐欺のことです。ホームページに問い合わせ先やキャンセル時の連絡先などが表示されていることもありますが、絶対に自分から連絡をしてはいけません。

【事例】　受信したEメールに記載されているアドレスをクリックしてホームページを表示したところ、「会員登録が完了したので入会金を支払いなさい！」と一方的に請求された。